

日本文化史 I

科目ナンバリング JPH-235
選択 2単位

リベ° アントレ

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では江戸の都市社会や文化について学ぶ。方法として江戸時代後期に無名の武士によって書かれた『世事見聞録』の英翻訳を精読し、様々な都市社会や文化に関わるトピックを検討する。また、日本文化・思想史の概念をどのように翻訳するかという問題について考えたい。(注意:授業中の使用言語は英語と日本語)

2. 授業の到達目標

- ・日本文化・思想史の理解を深める
- ・近世日本の都市社会や文化について説明することができる
- ・日本文化・思想史について英語で説明力を高める

3. 成績評価の方法および基準

- ・平常点(30%)
- ・積極的参加と、朗読(40%)
- ・小論文(30%)

4. 教科書・参考文献

教科書

Teeuwen, M.; Nakai-Wildman, Kate (ed.) Lust, Commerce, and Corruption. An Account of What I Have Seen and Heard by an Edo Samurai (Abridged Edition) New York: Columbia University Press 2017.

参考文献

武陽隠士; 本庄栄治郎・校訂; 奈良本辰也・補訂 『世事見聞録』 岩波書店 1995(岩波文庫-青48-1).

吉田伸之 『都市—江戸に生きる』 岩波書店 2015(岩波新書 1525).

5. 準備学修の内容

以下のような準備学習課題を課する。授業は各自の予習をもとに進めるので、やっていないと授業での活動を深めることが難しくなる。

- ・講義内で指示した文献を読む
- ・講義の出席前に前回の授業のノートを読み返し、復習する
- ・英語の専門用語を復習する

6. その他履修上の注意事項

- ・授業中の使用語は英語と日本語
- ・受講希望者は必ず初回の授業に出席する
- ・学生証を所持する
- ・欠席や遅刻は止むを得ない場合は例外とし、定時には着席する
- ・講義計画は適宜変更する可能性がある
- ・合理的配慮などの特別な理由がない場合、パソコンの持ち込みは禁止する

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション(自己紹介、授業目的、授業方法、成績評価の説明について)
Orientation
- 【第2回】 イントロダクション: 歴史・思想的背景
Introduction: Historical and Intellectual Background
・読書方法と講義ノートの取り方についての説明
- 【第3回】 『初編 武士の事』I
"Warriors" I
・準備学習課題①の発表・討論(グループワーク)
- 【第4回】 『初編 武士の事』II
"Warriors" II
・準備学習課題②の発表・討論(グループワーク)
- 【第5回】 『初編 武士の事』III
"Warriors" III
・準備学習課題③の発表・討論(グループワーク)
- 【第6回】 歴史・思想的背景
Historical and Intellectual Background
・準備学習課題④の発表・討論(グループワーク)
- 【第7回】 『二編 百姓の事』I
"Farmers" I
・準備学習課題⑤の発表・討論(グループワーク)
- 【第8回】 『二編 百姓の事』II
"Farmers" II
・準備学習課題⑥の発表・討論(グループワーク)
- 【第9回】 歴史・思想的背景
Historical and Intellectual Background
・準備学習課題⑦の発表・討論(グループワーク)
- 【第10回】 『三編 寺社の事』I
"Temple and Shrine Priests" I
・小論文の課題についての紹介(全員)
- 【第11回】 『三編 寺社の事』II
"Temple and Shrine Priests" II
・準備学習課題⑧の発表・討論(グループワーク)

- 【第12回】 歴史・思想的背景
Historical and Intellectual Background
・準備学習課題⑨の発表・討論(グループワーク)
- 【第13回】 『四編 盲人の事』
"The Blind"
・小論文の発表①
・他者の小論文を評価する(ピア・レビュー)
- 【第14回】 『四編 公事訴訟の事』
"Lawsuits"
・小論文の発表②
・他者の小論文を評価する(ピア・レビュー)
- 【第15回】 総括と小論文の締め切り
Summary
・小論文の発表③
・他者の小論文を評価する(ピア・レビュー)
・後期授業の紹介